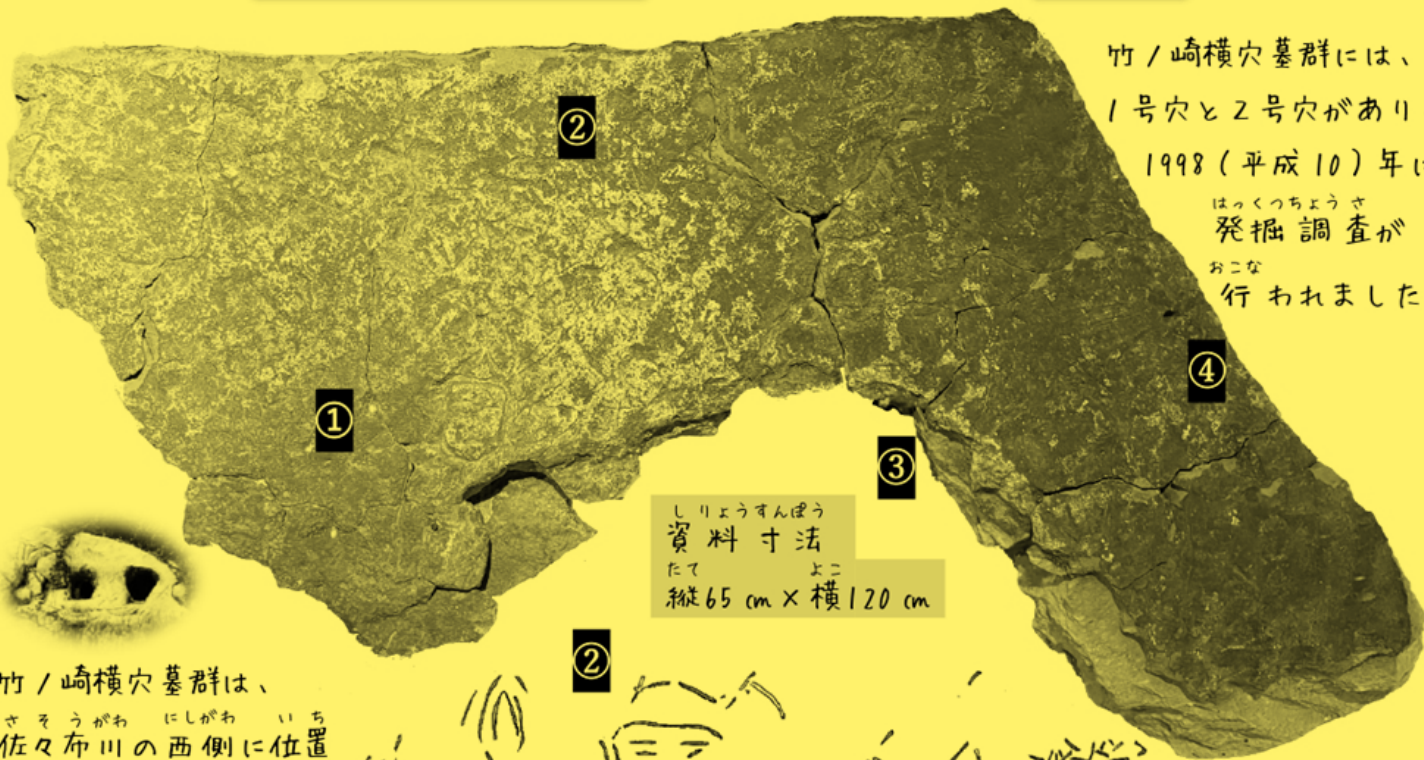




今回は、ミュージアムで常設展示している

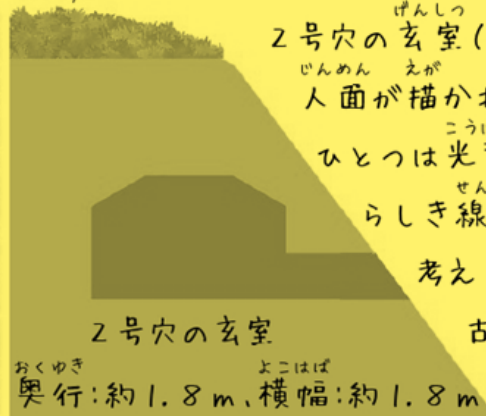
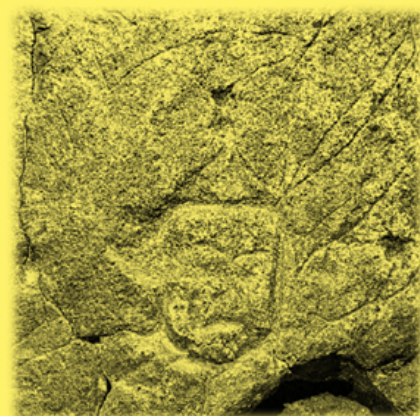
竹ノ崎横穴墓群2号穴 (松江市宍道町佐々布)の線刻壁画を紹介いたします。



竹ノ崎横穴墓群には、1号穴と2号穴があり、1998(平成10)年に発掘調査が行われました。

資料寸法
縦65cm×横120cm

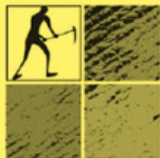
竹ノ崎横穴墓群は、佐々布川の西側に位置する丘陵に所在していた遺跡です。古墳時代後期、6世紀後半から7世紀初めに造られたと考えられています。



2号穴の玄室(死者を埋葬する墓室)の奥壁には、人面が描かれた線刻の壁画があり、そのうちのひとつは光背(神仙の光明を表現したもの)らしき線があることから、仙像ではないかと考えられています。なお、描かれた時期は、古墳時代よりも後の時代で、横穴墓が仙教の祭祀場として再利用された時であった可能性も考えられます。

① 光背がある線刻壁画

横穴墓の模式図



モニュメント・ミュージアム
来待ストーン
MONUMENT MUSEUM KIMACHI STONE



2025年4月1日より入館料、体験料、施設使用料の金額が改定となります。
※ 詳細は当館ホームページに掲載